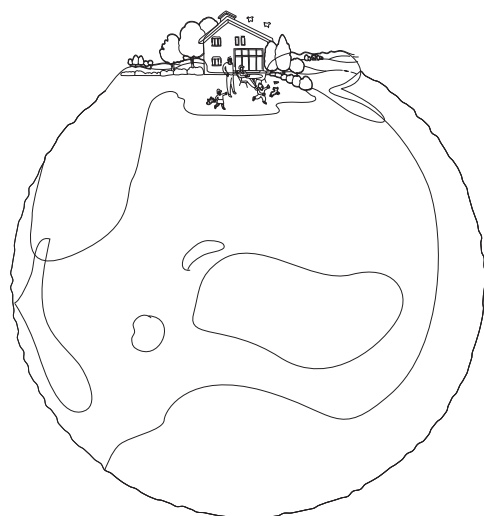
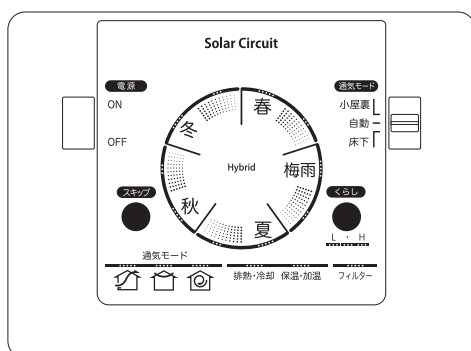


ソーラーサーキット

SCナビゲーター

取扱説明書



お使いになる前に

安全のために必ず守ること	2
はじめに	3
各部の名称	3
運転前の準備	4
システムの機能	6
ナビゲーターの機能	7
システムの動き	8

運転のしかた

自動運転	9
マニュアル運転	11
上手にお使いいただくために	13
快適に暮らしていただくために	14

困ったときに

故障かな?と思ったら	17
点検とお手入れ	17
アフターサービス	20
主仕様	20

- この取扱説明書は、システムを正しく安全にお使いいただくために、ご理解いただきたいことを説明しておりますので、最後までよくお読みください。
- なお、ご使用前に「安全のために必ず守ること」を確認して、正しくお使いください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- この製品は日本国内用ですので、日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。


This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.


No servicing is available outside of Japan.






お客様自身では据付けないでください。(安全や機能の確保ができません)







■安全のために必ず守ること

・誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

警告  誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

注意  誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの

	● ガス漏れに気付いたときは、SC ナビゲーターの電源、ダイヤル、運転切替操作はしない 爆発・引火の原因。
	● 製品に直接水やお湯、かび取剤などをかけない ショート・感電の原因。
	● 改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる販売店にご相談ください。
	● お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る 感電・けがの原因。
	● 交流 100V を使用する 火災・感電の原因。
	● 異常・故障時には、直ちに使用を中止する 発煙・発火・感電・けがの原因。 〈異常・故障例〉 ● スイッチを入れても羽根が回転しない。 ● 回転中に異常音や振動がする。 ● 回転が遅いまたは不規則である。 （モーターはメンテナンスが必要な部品です。） ● こげ臭いにおいがする。 ● 本体据付部に腐食・破損などがある。 など ※ すぐに分電盤のブレーカーを切って、販売店へ点検修理を依頼してください。
	● アースが取付けられているか確認する（床下ダンパー） 故障や漏電のとき感電の原因。 アースの取付けは工務店・電気工事店にご相談ください。

	● 本体に異常な振動が発生した場合は使用しない 本体・部品の落下によるけがの原因。
	● 高温（40℃以上）や直接炎のあたるおそれのある場所や油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所では使用しない 火災の原因。
	● 運転中は危険ですから、SC 小屋裏ファンの羽根や床下ダンパーの中に指や物をいれない けがの原因。
	● 浴室など湿気の多い場所では使用しない 感電・故障の原因。
	● 電気工事は必ず電気工事店に依頼する 感電の原因。
	● お手入れ後の部品の据付けは確実に 落下によるけがの原因。
	● お手入れの際は手袋を着用する けがの原因。
	● スプレー（殺虫剤・整髪用・掃除用）などをSC ナビゲーターなどのプラスチック部分にかけないでください 部品の変質・破損の原因。
	● 床下ダンパーの屋外グリル部はネジで閉めておいてください 挟まれてけがの原因。

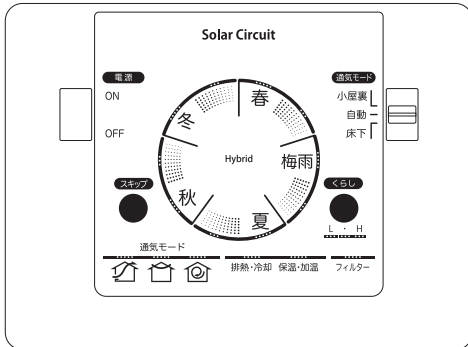
お願い

- 台風時など床下浸水が予想される場合には漏電のおそれがありますので SC ナビゲーターの電源を切ってください（床下ダンパー閉鎖）。なお床下ダンパーを閉鎖しても浸水を防ぐことはできません。
- 床下浸水があった場合は部品の交換が必要です（工務店・工事店にご相談ください）。
- 雪で床下ダンパーがふさがりような場合は、雪が浸入しないような処理をしてください。
- 使用可能な周囲温度条件（-10～40℃）以外のところに据付けられていないか確認してください。
- 温度センサーの近くに発熱機器や高温の排気口など温度感知の障害となるものを設けないでください。

はじめに

ソーラーサーキット（略称：SC）は、建物に断熱性を付加するとともに、気密性と通気性という相反する機能を屋外の気温に応じて使い分ける「外断熱・二重通気工法」です。

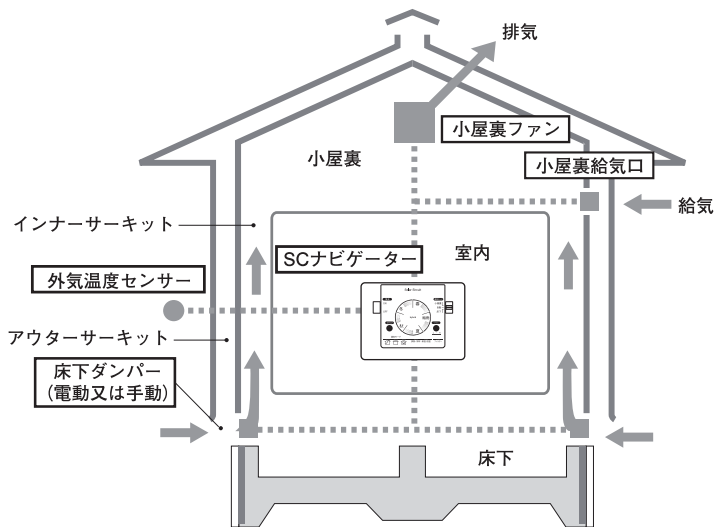
SCナビゲーターの操作によって、冬季は断熱・気密構造による保温性、夏季は断熱・通気構造による遮熱性・排熱性によって、日々の気候変化による屋内の温度変化をより穏やかにすることができます。



■ SCナビゲーターの機能

- ・ 季節にあった通気制御パターンを自動で選択
- ・ 敷地周辺の温度に応じて気密性と通気性を使い分け
- ・ 通気モードの温熱効果を表示
- ・ 季節の機器運転の切り替えやフィルターのお掃除時期をお知らせ
- ・ 好みに合わせて通気切り替え温度が選べる

各部の名称



※本書では24時間換気システムを除いたソーラーサーキットのインナーサーキット通気部分を説明しています。
※室内の24時間換気は小屋裏ファンとは別の換気ファンで行います。（換気システムの取扱説明書をお読みください。）

■ SCナビゲーター（TS-200）

外気温度に応じて小屋裏ファン、床下ダンパー（電動の場合）、小屋裏給気口の動作を自動で切替え、季節に適した通気モードを自動選択します。

■ 小屋裏ファン

インナーサーキットに取り込んだ空気を屋外に排気します。

■ 床下ダンパー（電動又は手動）

インナーサーキットに外の空気を取り込むダンパーです。

■ 小屋裏給気口

小屋裏のみを通気するときには外の空気を取り込む給気口です。電動で開閉します。

■ 外気温度センサー

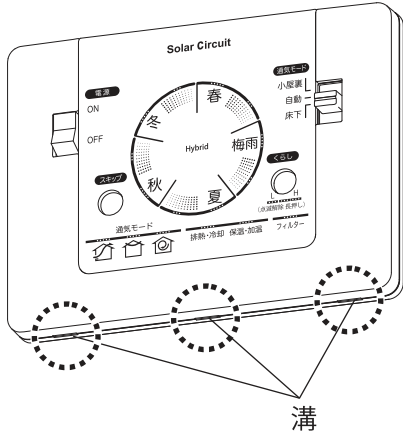
SCナビゲーターが自動で運転するための外気温度を感知します。

運転前の準備

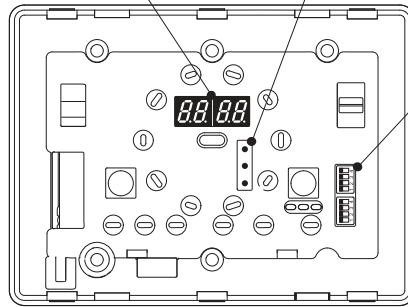
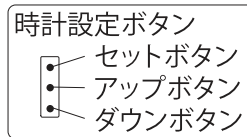
運転前に前面パネルを取りはずし、各種設定を行ってください。

前面パネルの取りはずし方

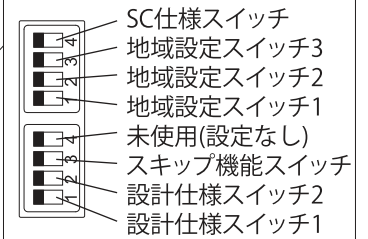
クリップ等を溝部分に1mm程度差し込み、ひねってあける。(端の溝から順にあける)
※深く差し込むとあきません。



各種設定スイッチ



システム仕様、地域設定スイッチ



設定例 左設定 右設定

運転前の準備

■システム仕様と地域の設定 ※初期設定は工務店におまかせください。

先の細い棒状のものでスイッチを操作してください。
※スイッチ以外の部分に触れないよう、気を付けて操作してください。
※設定を有効にするには、設定後に再度電源を入れなおしてください。

1 自動仕様・半自動仕様の設定・・・お使いのシステム仕様にあわせて設定してください。

スイッチ	自動仕様	半自動仕様	自動仕様 : 電動の床下ダンパーの場合 半自動仕様: 手動の床下ダンパーの場合
SC仕様スイッチ	<input type="checkbox"/> 右	左 <input type="checkbox"/>	

2 設置地域の設定・・・お使いの地域にあわせて設定してください。

設置地域	1	2	3	4	5
スイッチ	北東北	東北・甲信越	関東・北陸・近畿	東海・中国・四国・九州	南九州・高知
地域設定スイッチ3	<input type="checkbox"/> 右	<input type="checkbox"/> 右	<input type="checkbox"/> 右	左 <input type="checkbox"/>	左 <input type="checkbox"/>
地域設定スイッチ2	<input type="checkbox"/> 右	左 <input type="checkbox"/>	左 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 右	<input type="checkbox"/> 右
地域設定スイッチ1	左 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 右	左 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 右	左 <input type="checkbox"/>

3 季節のスキップ機能の設定・・・スキップ機能の有効・無効を設定できます。詳細は取扱説明書8ページをご覧ください。

スイッチ	無効	有効	有効: 季節のスキップ機能を使うとき 無効: 季節のスキップ機能を使わない
スキップ機能スイッチ	左 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 右	

4 24時間換気の設定・・・ご使用の24時間換気の機器仕様に合わせた運転切替のタイミングをHybridランプを点滅させてお知らせすることができます。必要ない場合は設定しないが選択できます。詳細は14～16ページをご覧ください。

スイッチ	「リフレア」仕様 (SV-20U)	「四季対応型」仕様 (SC-V3)	「SV-20Z」仕様 「SC-V3」仕様	設定しない
設計仕様スイッチ2	<input type="checkbox"/> 右	<input type="checkbox"/> 右	左 <input type="checkbox"/>	左 <input type="checkbox"/>
設計仕様スイッチ1	<input type="checkbox"/> 右	左 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 右	左 <input type="checkbox"/>

■年月日と時間設定

必ずお読みください

SCナビゲーターは本体の年月日設定と外気温度にもとづき、季節と通気を自動で選択しますので、必ず正しい年月日に設定の上お使い願います。年月日を正しく設定せずに自動運転されますと、適切な通気モードが選択されないおそれがありますのでご注意ください。

1~7の手順で設定してください。

先の細い棒状のものでボタンを操作してください。

※ボタン以外の部分に触れないよう、気を付けて操作してください。

操作前は年月日、時間表示LEDは消灯しています。

設定途中でも、操作が10秒以上無い場合は、設定モードが終了し年月日、時間表示LEDが消灯します。

設定途中でLEDが消灯すると、それまでの設定が反映されませんので、最初からやり直してください。

1 ●● セットボタンを押す(1回目)

“年”の表示

 (点灯)
(例: 2016年)



2 ●● セットボタンを押す(2回目)

“月日”の表示

 (点灯)
(例: 1月23日)



3 ●● セットボタンを押す(3回目)

“時分”の表示

 (点灯)
(例: 12時34分)



4 ●● セットボタンを押す(4回目)

“年”の設定

 (点滅)

●● アップボタン、ダウンボタンで設定する
スイッチを押すごとに1の桁の数字が設定
できます。

長押しすると10の桁が設定できます。



5 ●● セットボタンを押す(5回目)

“月日”の設定

 (点滅)


●● アップボタン、ダウンボタンで設定する
スイッチを押すごとに1の桁の数字が設定
できます。

長押しすると10の桁が設定できます。



6 ●● セットボタンを押す(6回目)

“時分”の設定

 (点滅) 時分は24時間表示です

●● アップボタン、ダウンボタンで設定する
スイッチを押すごとに1の桁の数字が設定
できます。

長押しすると10の桁が設定できます。



7 ●● セットボタンを押す(7回目)

設定終了

 (消灯)

設定内容の確認

1~3の手順で正しく設定されたか確認してください。




お知らせ

■年月日と時間設定は電池によるバックアップではないため電池交換の必要はありませんが、電源スイッチが入っていない状態でのデータ保持時間は1ヶ月程度になります。データ保持期間を過ぎ、年月日と時間設定が消えた状態になると季節LEDが全点滅しますので、上記の手順に従って再設定してください。

システムの機能






■ 自動仕様（電動床下ダンパーがついている仕様）

SCナビゲーターに接続されている温度センサーで外の気温を感知して、小屋裏ファンの運転や床下ダンパー、小屋裏給気口の開閉を自動で行い、涼しい時には建物の気密性能を高めて建物から熱が逃げるのを抑え、暑い時には通気性能を高めて建物内部にこもった熱を排出します。
マニュアル運転による通気モード切替も可能です。

通気モード			
停止モード	床下ダンパー 小屋裏ファン 小屋裏給気口	閉鎖 停止 閉鎖	 建物の気密性を高める (冬)暖かさが逃げるのを抑えます (夏)暑すぎる高温外気や急激な気温低下時の外気の取込を防ぎます
床下モード	床下ダンパー 小屋裏ファン 小屋裏給気口	開放 強運転 閉鎖	 床下・壁内・小屋裏の通気性を高める (夏)外壁や小屋裏の熱ごもりを緩和します
小屋裏モード	床下ダンパー 小屋裏ファン 小屋裏給気口	閉鎖 弱運転 開放	 小屋裏の通気性を高める (夏)小屋裏の熱ごもりを抑え、床下のひんやりした空気を逃がしません (春・秋)小屋裏の熱ごもりを抑え、床下は冷えすぎないように保温します

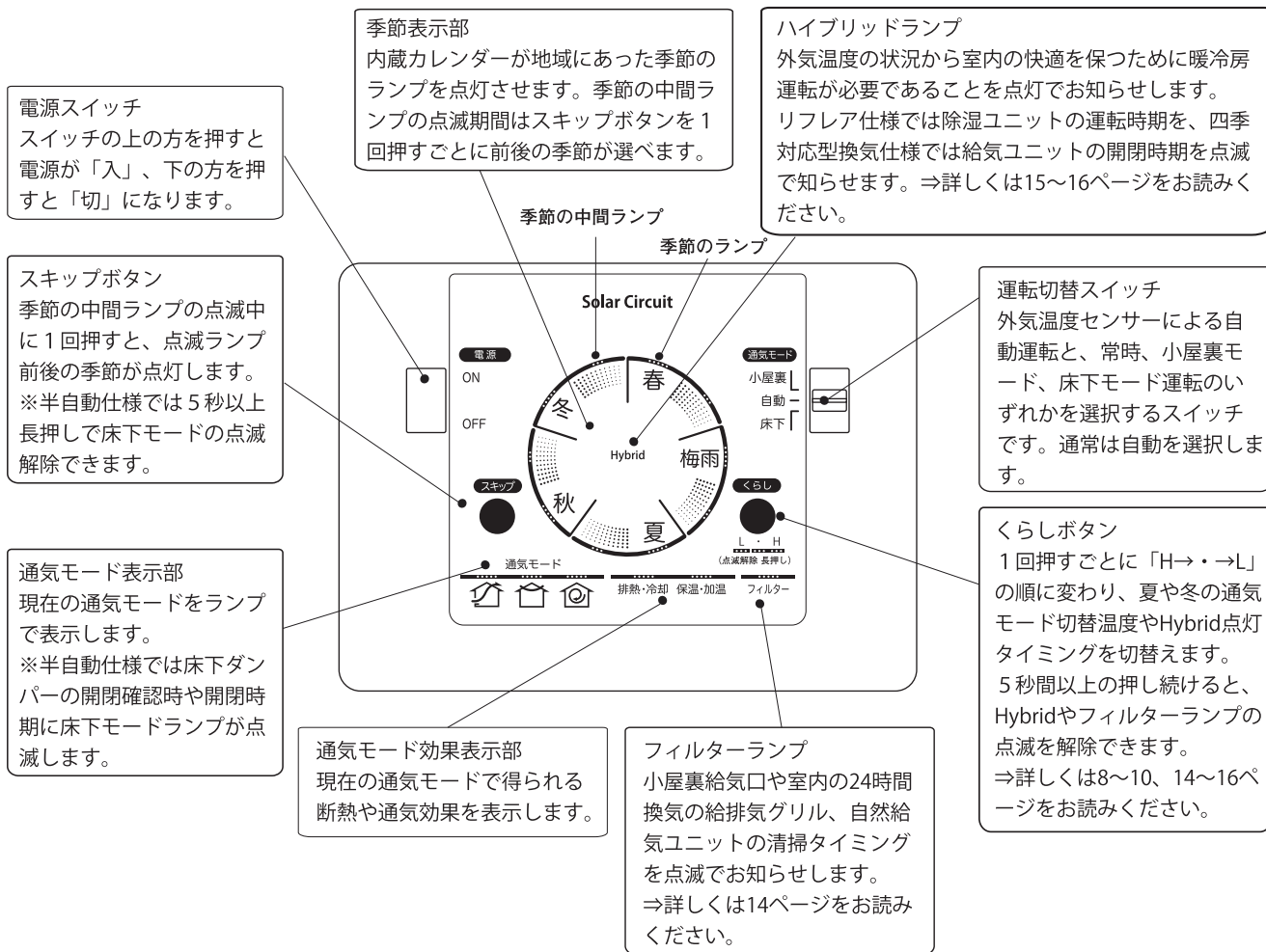
■ 半自動仕様（手動の床下ダンパーがついている仕様）

SCナビゲーターに接続されている温度センサーで外の気温を感知して、小屋裏ファンの運転や小屋裏給気口の開閉を自動で行い、涼しい時には建物の気密性能を高めて建物から熱が逃げるのを抑え、暑い時には通気性能を高めて建物内部にこもった熱を排出します。夏は床下ダンパーを手動で開放し床下モードを活用します。マニュアル運転による通気モード切替も可能です。

通気モード			
停止モード	床下ダンパー 小屋裏ファン 小屋裏給気口	閉鎖 停止 閉鎖	 建物の気密性を高める (冬)暖かさが逃げるのを抑えます
停止モード (夏の床下開放時)	床下ダンパー 小屋裏ファン 小屋裏給気口	開放 停止 閉鎖	 床下の通気性を維持しながら、小屋裏の通気性を抑える (夏)小屋裏への高温外気の取込みを防ぎます
床下モード	床下ダンパー 小屋裏ファン 小屋裏給気口	開放 強運転 閉鎖	 床下・壁内・小屋裏の通気性を高める (夏)外壁や小屋裏の熱ごもりを緩和します
小屋裏モード	床下ダンパー 小屋裏ファン 小屋裏給気口	閉鎖 弱運転 開放	 小屋裏の通気性を高める (春・秋)小屋裏の熱ごもりを抑え、床下は冷えすぎないように保温します
小屋裏モード (夏の床下開放時)	床下ダンパー 小屋裏ファン 小屋裏給気口	開放 開放 弱運転	 床下の通気性を維持しながら、小屋裏の通気性を高める (夏)小屋裏を積極的に通気して小屋裏の熱ごもりを抑えます

ナビゲーターの機能

SCナビゲーターはシステムの操作だけでなく、室内を快適に保つための外気温度変化による暖冷房使用開始を促すお知らせ機能、冬の省エネ性に配慮した24時間換気の強弱切替や給気ユニットの開閉タイミングのお知らせなど、四季の暮らしをナビゲートします。



ナビゲーターの機能

お知らせ

- 電源は1年中「入」でお使いください。電源を1か月以上切ると時間情報が消去されますのでご注意願います。
- 電源スイッチを「切」とすると、ハイブリッド、フィルタールンプ、床下モードの点滅解除がリセットされます。再度、電源スイッチを「入」とした時に同じアラームが点滅した場合は、改めて各アラーム解除が必要です。
- 表示ランプの明るさはスキップボタンとくらしボタンを同時に5秒間以上押し続けると交互に明るさが明るめ→暗めで切り替わります。
- くらしボタンで設定した「H→・→L」のモードは電源の「切」「入」に関係なく設定済みのモードを継続して表示します。

システムの動き

季節設定と外気温の変化にあわせて、通気モードが自動で切り替わり、そのときの通気モードがランプで確認できます。

自動仕様の自動運転設定温度

※□は床下モードの上限温度となります。

季節 くらし設定	設定温度 通気 モード	A °C未滿	A ~ B °C未滿	B ~ C °C未滿	C ~ D °C未滿	D °C以上
季節 くらし設定		停止モード	小屋裏モード	床下モード	小屋裏モード	停止モード
春		18°C未滿 (通気をとめて暖かさが逃げないようにします)	18~22°C未滿 (床下が冷えずぎないように小屋裏のみを通気します)	22~32°C未滿 (床下から小屋裏まで通気して熱ごもりを緩和します)	32~36°C未滿 (床下のひんやりを逃さないように小屋裏のみを通気します)	36°C以上 (異常に暑い外気の取り込みを防ぎます)
	梅雨	32°C未滿 (外気の温湿度が不安定なため閉鎖します)	設定なし	設定なし	32~36°C未滿 (温度が上がりやすい小屋裏を通気します)	36°C以上 (異常に暑い外気の取り込みを防ぎます)
夏	H	18°C未滿 (夏の急な気温低下時の外気の取り込みを防ぎます)	18~24°C未滿 (床下が冷えずぎないように小屋裏通気の時間を多くします)	24~29°C未滿 (床下から小屋裏まで通気して熱ごもりを緩和します)	29~36°C未滿 (床下のひんやりを逃さないように小屋裏のみを通気します)	36°C以上 (異常に暑い外気の取り込みを防ぎます)
	•	18°C未滿	18~24°C未滿	24~32°C未滿	32~36°C未滿	36°C以上
	L	18°C未滿	18~24°C未滿	24~34°C未滿	34~36°C未滿	36°C以上
秋		18°C未滿 (通気をとめて暖かさが逃げないようにします)	18~20°C未滿 (床下が冷えずぎないように小屋裏のみを通気します)	20~32°C未滿 (乾燥した外の空気を床下から取り込む時間を多くします)	32~36°C未滿 (床下のひんやりを逃さないように小屋裏のみを通気します)	36°C以上 (異常に暑い外気の取り込みを防ぎます)
冬	H	停止します	停止します	停止します	停止します	停止します
	•	23°C未滿 (暖めた空気が逃げないようにします)	23~25°C未滿 (暖かい外気を小屋裏に取り込みます)	25~32°C未滿 (床下から小屋裏まで通気して暖かい外気で暖めます)	設定なし	32°C以上 (異常に暑い外気の取り込みを防ぎます)
	L	23°C未滿	23~25°C未滿	25~32°C未滿	設定なし	32°C以上

システムの動き

半自動仕様の自動運転設定温度

※□は床下モードの上限温度となります。

季節 くらし設定	設定温度 通気 モード	A °C未滿	A ~ B °C未滿	B ~ C °C未滿	C ~ D °C未滿	D °C以上
季節 くらし設定		停止モード	小屋裏モード	床下モード	小屋裏モード	停止モード
春		18°C未滿 (通気をとめて暖かさが逃げないようにします)	18~22°C未滿 (床下が冷えずぎないように小屋裏のみを通気します)	設定なし	22~36°C未滿 (温度が上がりやすい小屋裏のみを通気します)	36°C以上 (異常に暑い外気の取り込みを防ぎます)
	梅雨	32°C未滿 (外気の温湿度が不安定なため閉鎖します)	設定なし	設定なし	32~36°C未滿 (温度が上がりやすい小屋裏を通気します)	36°C以上 (異常に暑い外気の取り込みを防ぎます)
夏	H	18°C未滿 (床下が冷えずぎないように小屋裏ファンを停止します)	18~24°C未滿 (床下が冷えずぎないように小屋裏の通気を多くします)	24~29°C未滿 (床下から小屋裏まで通気して熱ごもりを緩和します)	29~36°C未滿 (床下のひんやりを逃さないように小屋裏通気を多くします)	36°C以上 (異常に暑い外気の取り込みを減らします)
	•	18°C未滿	18~24°C未滿	24~32°C未滿	32~36°C未滿	36°C以上
	L	18°C未滿	18~24°C未滿	24~34°C未滿	34~36°C未滿	36°C以上
秋		18°C未滿 (通気をとめて暖かさが逃げないようにします)	18~20°C未滿 (床下が冷えずぎないように小屋裏の通気をします)	設定なし (床下ダンパーは秋の中頃まで開放し乾燥外気を取り込みます)	20~36°C未滿 (床下が冷えずぎないように小屋裏のみを通気します)	36°C以上 (異常に暑い外気の取り込みを防ぎます)
冬	H	停止します	停止します	停止します	停止します	停止します
	•	23°C未滿 (暖めた空気が逃げないようにします)	23~25°C未滿 (暖かい外気を小屋裏に取り込みます)	設定なし	25~32°C未滿 (暖かい外気を小屋裏に取り込みます)	32°C以上 (異常に暑い外気の取り込みを防ぎます)
	L	23°C未滿	23~25°C未滿	設定なし	25~32°C未滿	32°C以上

季節設定と季節切替可能 (スキップ) 期間

※自動仕様、半自動仕様共通

設置地域 の設定	冬		[冬⇄春]中間ランプ		春		[春⇄梅雨]中間ランプ		梅雨		[梅雨⇄夏]中間ランプ		夏		[夏⇄秋]中間ランプ		秋		[秋⇄冬]中間ランプ		冬		
	点灯	点滅	点灯	点滅	点灯	点滅	点灯	点滅	点灯	点滅	点灯	点滅	点灯	点滅	点灯	点滅	点灯	点滅	点灯	点滅	点灯	点滅	
1	1/1~5/4	4/25~5/4	5/5~6/1	6/2~6/14	6/2~8/9	7/21~8/9	8/10~9/22	9/16~9/22	9/23~10/22	10/17~10/22	10/23~12/31												
2	1/1~4/19	4/10~4/19	4/20~5/26	5/27~6/7	5/27~8/6	7/18~8/6	8/7~9/22	9/16~9/22	9/23~11/6	10/23~11/6	11/7~12/31												
3	1/1~4/9	4/1~4/9	4/10~5/20	5/21~6/6	5/21~8/6	7/17~8/6	8/7~10/7	9/23~10/7	10/8~11/13	11/7~11/13	11/14~12/31												
4	1/1~4/4	3/21~4/4	4/5~5/20	5/21~6/4	5/21~8/3	7/14~8/3	8/4~10/14	10/8~10/14	10/15~11/13	11/7~11/13	11/14~12/31												
5	1/1~3/20	3/10~3/20	3/21~5/12	5/13~5/30	5/13~7/29	7/11~7/29	7/30~10/22	10/15~10/22	10/23~11/30	11/22~11/30	12/1~12/31												

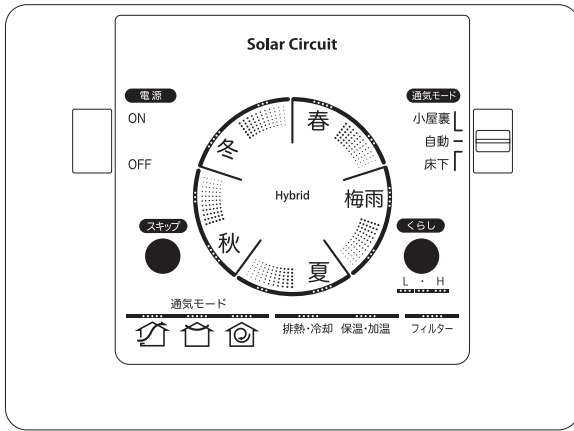
※半自動仕様は手動床下ダンパーの開閉が必要となる 梅雨⇄夏の季節のスキップはできません。

※設置地域1~5はSCナビゲーター取扱説明書またはVISCシステム施工編をお読みください。

自動運転（自動仕様）

※電動床下ダンパーがついている仕様

季節設定と外気温度の変化にあわせて、システムを自動運転させます。



自動運転のしかた

現在の年月日と時間をあわせてから自動運転を開始してください。

1 開始

電源 ON/OFF を押して、ONを選ぶ。

表示ランプが季節の円周上を2回転点灯後、全点灯→全消灯し起動状態のパターンを表示します。

2 設定

通気モード 小屋裏 自動 床下 を押して、自動を選ぶ。

自動モードでは外気温度に合わせて、通気モードが自動選択されます。

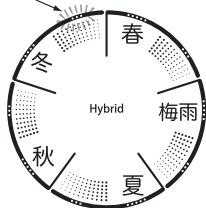
3 調節

くらし を押して、夏と冬の通気モードの切替温度を調節します。

1回押すごとに H→・→L の順に変わります。

■ 季節の中間ランプが点滅したら

季節の中間ランプが点滅



スキップ を押して、点滅ランプの前後の季節を選択できます。点滅期間は8ページで確認してください。

※特に梅雨入りや梅雨明けの時期は気象情報に合わせた季節の選択をお奨めいたします。

■ くらしボタンの使い方

夏 床下モード上限温度 [C] を選択します。H→・→L の順で、29℃→32℃→34℃に変わります。冷房をよく使用する暮らしではH、冷房をほとんど使用しない暮らしにはLがおすすめです。

冬 冬は通気モードの利用有無を選択します。H→・→L の順で、常時停止→自動運転→自動運転に変わります。Lや・を選択すると初冬や初春の暖かい外気を通気します。全館暖房や床下暖房等を利用する場合はHを選択します。※詳しくは8ページをお読みください。

自動運転を終了させたい場合

電源 ON/OFF を押して、OFFを選ぶ。

自動運転（自動仕様）

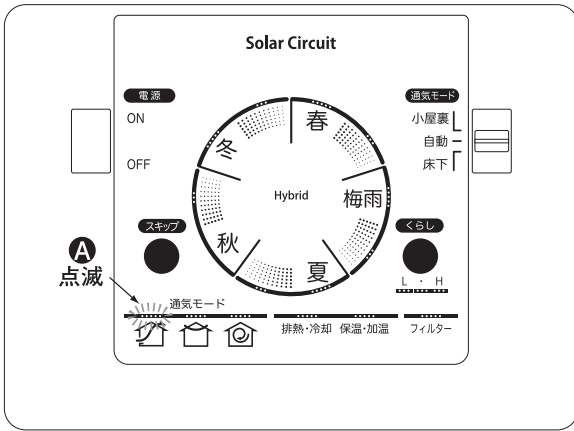
お知らせ

- 運転切替スイッチ、季節の切替操作を行った場合、通気モードの切替まで約1分かかる場合があります。
- 季節の切替操作を行った場合、Hybridランプの点灯切替まで約〇〇分かかる場合があります。
- 一時的に運転を停止させたい時は、電源を切ってください。電源を1か月以上切ると時間情報が消去されますのでご注意ください。
- 停電時は、小屋裏ファンは停止し、小屋裏給気口は閉鎖しますが、床下ダンパーは停電時の状態のまま停止します。通電後は、その時の切り替えスイッチの状態に応じた運転となります。
- 電源スイッチが入っていない状態でのデータ保存期間は1か月程度になります。データ保存期間を過ぎ、年月日と時間設定が消えた状態になると季節LEDが全点滅しますので、5ページの手順に従って再設定してください。

自動運転 (半自動仕様)

※手動の床下ダンパーがついている仕様

季節設定と外気温度の変化にあわせて、システムを自動運転させます。夏の期間、手動でSC床下ダンパーを開放します。



必ずお読みください

半自動仕様では自動モードの設定時、自動モード運転中の夏の床下ダンパー(手動の場合)開閉をお知らせする床下モードランプ(左図A)が点滅します。春、梅雨、秋の後半、冬に点滅中のままとすると停止モードとなりますので説明をよくお読みいただき点滅解除をしてください。

自動運転のしかた

現在の年月日と時間をあわせてから自動運転を開始してください。

自動運転 (半自動仕様)

自動運転中に床下モードが点滅したら

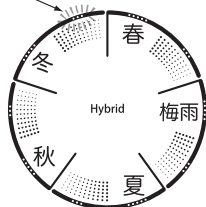
梅雨明け後 秋の中頃

点滅 通気モード そろそろ、床下ダンパーの夏の開閉の時期です。

自動運転のしかた、3確認→4解除の手順でダンパー開閉と床下モードの点滅解除をします。点滅中は暫定的に秋モード運転となります(床下モードを行いません)。

季節の中間ランプが点滅したら

季節の中間ランプが点滅



スキップ を押して、点滅ランプの前後の季節を選択できます。点滅期間は8ページで確認してください。

※特に梅雨入りや梅雨明けの時期は気象情報に合わせた季節の選択をお奨めいたします。

くらしボタンの使い方

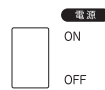
夏 床下モード上限温度Cを選択します。H→・→Lの順で、29℃→32℃→34℃に変わります。冷房をよく使用する暮らしではH、冷房をほとんど使用しない暮らしにはLがおすすめです。

冬 冬は通気モードの利用有無を選択します。H→・→Lの順で、常時停止→自動運転→自動運転に変わります。Lや・を選択すると初冬や初春の暖かい外気を通気します。全館暖房や床下暖房等を利用する場合はHを選択します。※詳しくは8ページをお読みください。

お知らせ

- 運転切替スイッチ、季節の切替操作を行った場合、通気モードの切替まで約1分かかる場合があります。
- 季節の切替操作を行った場合、Hybridランプの点灯切替まで約〇〇分かかる場合があります。
- 一時的に運転を停止させたい時は、電源を切ってください。電源を1か月以上切ると時間情報が消去されますのでご注意ください。
- 停電時は、小屋裏ファンは停止し、小屋裏給気口は閉鎖します。通電後は、その時の切り替えスイッチの状態に応じた運転になります。床下モード選択時は、再度、床下モードのランプ点滅の解除を行ってください。
- 電源スイッチが入っていない状態でのデータ保存期間は1か月程度になります。データ保存期間を過ぎ、年月日と時間設定が消えた状態になると季節LEDが全点滅しますので、5ページの手順に従って再設定してください。

1 開始



を押して、ONを選ぶ。

表示ランプが季節の円周上を2回転点灯後、全点灯→全消灯し起動状態のパターンを表示します。

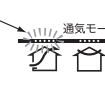
2 設定



で自動を選ぶ。

自動モードでは外気温度に合わせて、通気モードが自動選択されます。

3 確認



床下モードのランプが点滅します。床下ダンパーを確認する。

季節表示が夏の時は床下ダンパーを開けます。夏以外の時は床下ダンパーを閉めます。

4 解除



を長押しして、床下モードの点滅を解除する。

スキップボタンを長押し(5秒以上)すると点滅が解除され、自動運転を開始します。(季節の表示ランプが1回転します)

5 調節

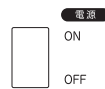


を押して、夏と冬の通気モードの切替温度を調節します。

1回押すごとに H→・→L の順に変わります。

自動運転を終了させたい場合

停止



を押して、OFFを選ぶ。

※解除後に電源の入り切りを行うと、その時の解除済のアラームはリセットされ再度アラームが点滅することがあります。

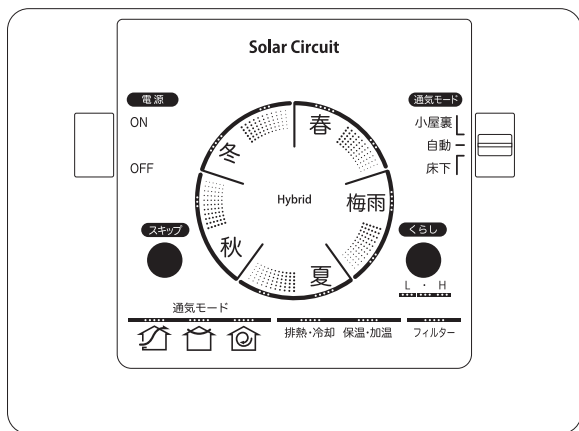
お願い

- 夏に解除した後、再び床下ダンパーを閉鎖した時は、自動運転を1開始からやり直してください。

マニュアル運転（自動仕様）



※電動床下ダンパーがついている仕様

運転切替スイッチで通気モードを選択する運転です。（外気温度によらない通気モード固定運転）



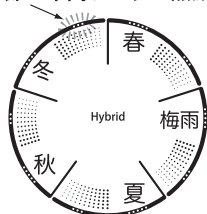
マニュアル運転のしかた

現在の年月日と時間をあわせてから自動運転を開始してください。

- 1 開始**
 を押して、ONを選ぶ。
 表示ランプが季節の円周上を2回転点灯後、全点灯→全消灯し起動状態のパターンを表示します。
- 2 設定**
 で“小屋裏”又は“床下”を選ぶ。
 外気温度によらず通気モード固定運転が始まります。

■ 季節の中間ランプが点滅したら

季節の中間ランプが点滅

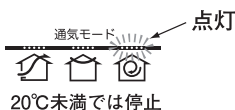


スキップ を押して、点滅ランプの前後の季節を選択できます。点滅期間は8ページで確認してください。

※特に梅雨入りや梅雨明けの時期は気象情報に合わせた季節の選択をお奨めいたします。

■ 夏の急な気温低下時の制御

夏 季節表示「夏」に床下モードでお使いの時、外気温度20℃未満を感知すると一時的に運転を停止します。外気温度が20℃以上にもどると再び運転を再開します。



■ 通気モード効果の表示

マニュアル運転時には通気モード効果は点灯しません。



運転を終了させたい場合

停止  を押して、OFFを選ぶ。

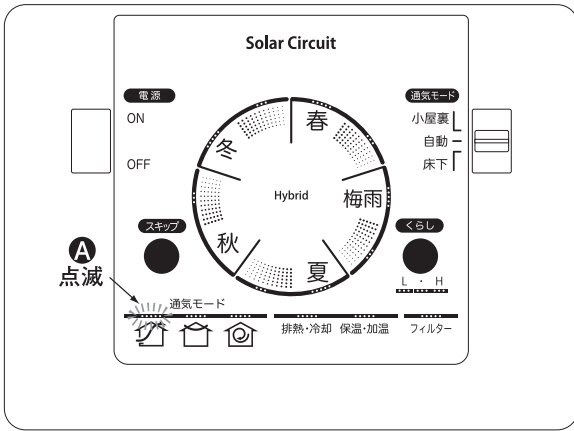
お知らせ

- 運転切替スイッチ、季節の切替操作を行った場合、通気モードの切替まで約1分かかる場合があります。
- 季節の切替操作を行った場合、Hybridランプの点灯切替まで約〇〇分かかる場合があります。
- 一時的に運転を停止させたい時は、電源を切ってください。電源を1か月以上切ると時間情報が消去されますのでご注意ください。
- 停電時は、小屋裏ファンは停止し、小屋裏給気口は閉鎖しますが、床下ダンパーは停電時の状態のまま停止します。通電後は、その時の切り替えスイッチの状態に応じた運転となります。
- 電源スイッチが入っていない状態でのデータ保存期間は1か月程度になります。データ保存期間を過ぎ、年月日と時間設定が消えた状態になると季節LEDが全点滅しますので、5ページの手順に従って再設定してください。

マニュアル運転（半自動仕様）

※手動の床下ダンパーがついている仕様

運転切替スイッチで通気モードを選択する運転です。（外気温度によらない通気モード固定運転）
手動でSC床下ダンパーを開閉します。



必ずお読みください

半自動仕様では通気モードの操作時に床下ダンパー（手動の場合）の開閉状況をご確認いただくための床下モードランプ（左図 **A**）点滅を行います。これは、床下ダンパー閉鎖状態での床下モード運転や床下ダンパー開放状態での小屋裏モード運転を行なわないための確認となります。

マニュアル運転のしかた

現在の年月日と時間をあわせてから自動運転を開始してください。

マニュアル運転（半自動仕様）

■ 季節の中間ランプが点滅したら

季節の中間ランプが点滅 **スキップ** を押して、点滅ランプの前後の季節を選択できます。点滅期間は8ページで確認してください。

※特に梅雨入りや梅雨明けの時期は気象情報に合わせた季節の選択をお奨めいたします。

■ 夏の急な気温低下時の制御

夏 季節表示「夏」に床下モードでお使いの時、外気温度20℃未満を感知すると一時的に運転を停止します。外気温度が20℃以上にもどると再び運転を再開します。

20℃未満では停止

■ 通気モード効果の表示

マニュアル運転時には通気モード効果は点灯しません。

1 開始 **電源** を押して、ONを選ぶ。
表示ランプが季節の円周上を2回転点灯後、全点灯→全消灯し起動状態のパターンを表示します。

2 設定 **通気モード** で「床下」又は「小屋裏」を選ぶ。
外気温度によらず通気モード固定運転を始めます。

【床下モードを選択】 ⇒ 3 確認へ

【小屋裏モードを選択】 ⇒ 運転を始めます
※小屋裏モードとする場合は、床下ダンパーは閉鎖してください。
※床下モードのランプ点滅が気になる時は、4 解除へ。

3 確認 床下モードを選択すると床下モードランプが点滅します。
床下ダンパーを確認する。
家の外に出て床下ダンパーを開けます。床下モード運転を終える時には、床下ダンパーを閉鎖します。

4 解除 **スキップ** を長押しして、床下モードの点滅を解除する。
スキップボタンを長押し（5秒以上）すると点滅が解除され、固定運転を開始します。（季節の表示ランプが1回転します）

運転を終了させたい場合

停止 **電源** を押して、OFFを選ぶ。

※解除後に電源の入り切りを行うと、その時の解除済のアラームはリセットされ再度アラームが点滅することがあります。

お知らせ

- 運転切替スイッチ、季節の切替操作を行った場合、通気モードの切替まで約1分かかる場合があります。
- 季節の切替操作を行った場合、Hybridランプの点灯切替まで約〇〇分かかる場合があります。
- 一時的に運転を停止させたい時は、電源を切ってください。電源を1か月以上切ると時間情報が消去されますのでご注意ください。
- 停電時は、小屋裏ファンは停止し、小屋裏給気口は閉鎖しますが、床下ダンパーは停電時の状態のまま停止します。通電後は、その時の切り替えスイッチの状態に応じた運転となります。
- 電源スイッチが入っていない状態でのデータ保存期間は1か月程度になります。データ保存期間を過ぎ、年月日と時間設定が消えた状態になると季節LEDが全点滅しますので、5ページの手順に従って再設定してください。

建物が完成してしばらくの間

建物が完成してしばらくの間は、床下のコンクリートや室内の塗り壁などの乾燥にともない、水蒸気の発生が多くなりますので、運転切替スイッチを「床下」に切り替えて、床下や壁体内に湿気が滞留しないようにしてください。冬季の場合、夜間は冷え込みますので、お天気のよい日中に適宜運転してください。

自動仕様（電動床下ダンパーがついている仕様）→ 半自動仕様の操作は12ページ「マニュアル運転（半自動仕様）」をお読みください。



コンクリートや塗り壁

設定

通気モード
小屋裏
自動
床下

で“床下”を選び

点灯



とする。

※季節表示「夏」では外気温度20℃未満で一時的に停止になります。

お願い

長雨のときは、運転を停止（床下ダンパーを閉鎖）して、リフレア仕様の除湿ユニットやエアコン、ポータブル除湿機で室内の除湿をしてください。

外気を取り入れたくない時

台風・雷雨・集中豪雨・濃霧等の天候時、近隣からの煙、悪臭、黄砂等の大気の状態が悪い時などは、一時的に電源を切り停止モードとしてください。手動の床下ダンパーをお使いの場合は全ての床下ダンパーを閉めてください。



台風や集中豪雨など

停止

電源
ON
OFF

を押してOFF

を選び、



とする。

消灯

お願い

電源を1か月以上切ったままにすると本体搭載の電池切れで時間情報が消去されますのでご注意ください。電源スイッチが入っていない状態でのデータ保持時間は1か月程度になります。

床下浸水等の恐れがある時

ご注意

電動床下ダンパーは停電時には操作できませんのでご注意ください。

台風等による床下浸水や小屋裏給気口からの雨水の侵入の恐れがある場合は、一時的に電源を切り停止モードとしてください。手動の床下ダンパーをお使いの場合は全ての床下ダンパーをあわせて閉めてください。



台風等による床下浸水等

停止

電源
ON
OFF

を押してOFF

を選び、



とする。

消灯

お願い

電源を1か月以上切ったままにすると本体搭載の電池切れで時間情報が消去されますのでご注意ください。電源スイッチが入っていない状態でのデータ保持時間は1か月程度になります。

外気温度センサーに直射日光が長い時間当たる場合

外気温度センサーに直射日光があたるときは、くらしボタンを「L」側に設定してください。これにより通気モードの切替温度やHybridランプの点灯温度を約2℃高く設定でき実外気温度での動作環境に近づけられます。

お知らせ

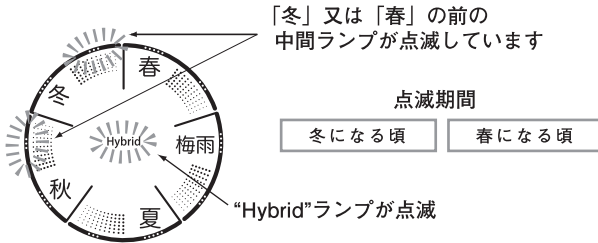
- 運転切替スイッチ、くらしボタン、季節の切替操作を行った場合、通気モードの切替まで約1分かかる場合があります。
- このシステムは建物の断熱による保温や遮熱、通気による排熱、乾燥を促すシステムでもあり、カビ・結露の発生を完全に排除することや、お客様個人の温冷感の快適を保証するものではありません。暖冷房機器や除湿機を必要に応じて併用してください。

換気設定変更のお知らせ

該当機器 **SV-20U** **SV-20Z** **SC-V3**

建築基準法では冬季等において自然換気（漏気を含む）による換気が一定量見込める条件下では、相当隙間面積が2cm²/m²以下の住宅の場合、機械換気設備の能力を0.4回/時相当とすることができます。SCナビゲーターは冬と春にお部屋の熱損失や消費電力を抑えられる弱運転(0.4回/時相当)への切替えタイミングをお知らせします。

冬 春 が近づくと "Hybrid"ランプが点滅します



お願い

- ・24時間換気 (SV-20U、SV-20Z、SC-V3) の操作については各取扱説明書をご覧ください。
- ・弱運転とする場合は、給排気口の1箇所あたりの風量が小さくなりますので、トイレ等の排気口の排気量も小さくなることをご理解願います。

冬 24時間換気を弱運転（熱交換）にします

準備

風量設定を「強運転→弱運転」にする。
SV-20U仕様は「熱交換」に切り替える。

くらし



を長押しして、“Hybrid”の点滅を解除する。

1 解除

くらしボタンを長押し（5秒以上）すると点滅が解除されます。（季節の表示ランプが1回転します）

春 24時間換気を強運転に戻します

準備

風量設定を「弱運転→強運転」に戻します。
SV-20U仕様は「熱交換」又は「外気導入」を選択します。

1 解除

と同じ操作をしてください。

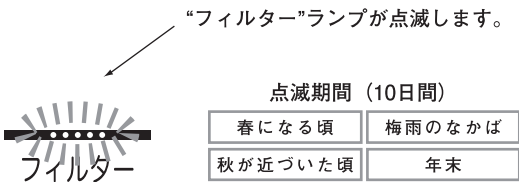
※ 解除後に電源の入り切りを行うと、その時の解除済のアラームはリセットされ再度アラームが点滅することがあります。

フィルター清掃のお知らせ

該当機器 **SV-20U** **SV-20Z** **SC-V3** 小屋裏給気口

24時間換気の給排気グリルや給気ユニットの吸入口やフィルターにほこりなどが付着しますと、風量低下や異常発生音の原因になります。SCナビゲーターは年に4回フィルターランプを点滅してフィルターの清掃を促します。また、梅雨の小屋裏給気口のフィルター清掃は小屋裏通気のための大切な清掃になります。

年4回 フィルターランプが点滅します



お願い

- フィルター清掃方法は下記に記載の各取扱説明書をご覧ください。
- ・SV-20U、SV-20Zの給排気グリルは、SC-SVシステム取扱説明書、又はP-05GL取扱説明書をご覧ください。
 - ・SC-V3の排気グリルはP-05GL取扱説明書、給気ユニットはP-13KQU (-D) 取扱説明書をご覧ください。
 - ・小屋裏給気口のフィルター掃除は19ページをご覧ください。

年4回 フィルターを清掃する

梅雨 小屋裏給気口のフィルターを清掃する

清掃

24時間換気ユニットの運転を停止する。小屋裏給気口のフィルター清掃時はSCナビゲーターを停止する。フィルター清掃を各取扱説明書を読んで行ってください。

1 解除

くらし



を長押しして“フィルター”の点滅を解除する。

くらしボタンを長押し（5秒以上）すると点滅が解除されます。（季節の表示ランプが1回転します）

※ 解除後に電源の入り切りを行うと、その時の解除済のアラームはリセットされ再度アラームが点滅することがあります。

お知らせ

- SV-20U、SV-20Zの本体フィルターの清掃は6か月に1回以上の清掃となります。本フィルター清掃のお知らせと同じタイミングで清掃を行いたい場合は、フィルター点滅間隔が約6か月間で設定されている梅雨と年末にあわせて清掃を行っていただくことで、SV本体のフィルター清掃のアラーム（壁スイッチのLED点滅）と概ね同じ時期でのフィルターランプ点滅させることができます。※春と秋のフィルター点滅時期は地域設定により異なります。
- 本フィルター清掃のお知らせにかかわらず、室内の給排気グリルや給気ユニットの清掃は2か月に1回以上の清掃が好適です。

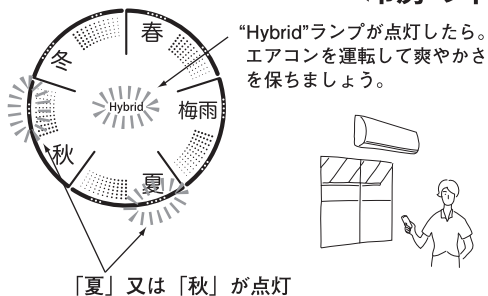
快適に暮らしていただくために

快適な温湿度を維持するために

該当仕様 **全仕様**

SCナビゲーターは室内では感じにくい外気温の上昇や低下を感知して、室内温度を快適に保つための通気モード制御に加え、冷暖房機器を上手にお使いいただくタイミングを“Hybrid”ランプの点灯で知らせます。

夏 秋 “Hybrid”ランプが点灯したら 冷房の準備



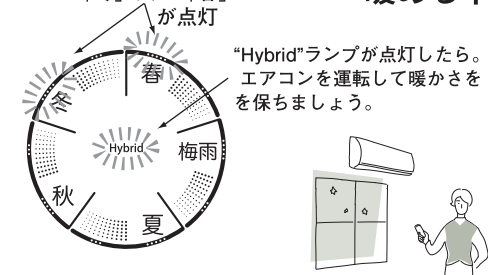
Hybridランプは、**くらし** 設定、
 H→・→L の順で、外気温度28℃→30℃→32℃
 を知らせます。秋は設定にかかわらず30℃固定。



Hybridランプ点灯タイミング

- 「H」設定
外気温度が冷房設定温度(28℃)になった時
 - 「・」設定
冷房設定温度(28℃)でエアコン間欠運転が必要な外気温度
 - 「L」設定
冷房設定温度(28℃)でエアコン連続運転が必要な外気温度
- ※エアコン運転の状況や室温は保証値ではありません。室内温度は気候、立地、建物、間取り、生活の条件、窓等からの日射侵入によって異なります。

冬 春 “Hybrid”ランプが点灯したら 暖める準備



Hybridランプは、**くらし** 設定、
 H→・→L の順で、過去48時間の平均外気温度が
 18℃→16℃→14℃以下を知らせます。春は設定にかかわらず16℃固定。



Hybridランプ点灯タイミング

- 「H」設定
肌寒い日が続き室内も冷え込み始める外気温度
 - 「・」設定
肌寒い日が続き室内で冷たさを感じる外気温度
 - 「L」設定
日中も気温が上がらない日が続き室内の暖房が必要な外気温度
- ※上記の暖房需要や温冷感は暖房を使用していない状況での外気温度の室内温熱への影響をイメージしたものです。また、温冷感は個人差により異なります。

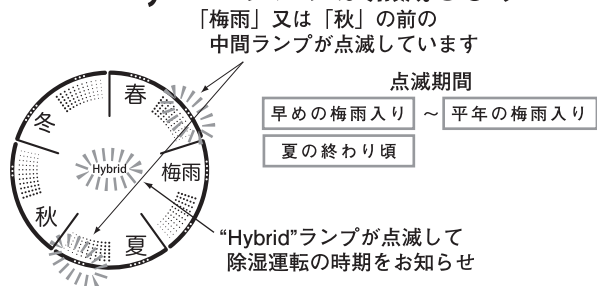
リフレア仕様にお住まいの方へ

除湿運転時期のお知らせ

該当仕様 **リフレア** ※ナビゲーターのリフレア仕様の初期設定が必要です。

梅雨が近づくと湿気を含む外気が24時間換気によって室内に流入し、気づかないうちに室内の水蒸気量が増えはじめてしまいます。SCナビはリフレア仕様にお住まいの方に、除湿運転の開始時期と停止時期を“Hybrid”ランプの点滅でお知らせします。

梅雨 秋 が近づくと “Hybrid”ランプが点滅します



お願い
 24時間換気 (SV-20U)、除湿ユニットの操作については各取扱説明書をご覧ください。

梅雨 除湿運転を開始する時期です

準備 24時間換気 (SV-20U) を「熱交換」に切り替える。除湿ユニットの電源を入れ「除湿」運転を開始する。

1 解除 **くらし** を長押しして、“Hybrid”の点滅を解除する。

くらしボタンを長押し (5秒以上) すると点滅が解除されます。(季節の表示ランプが1回転します) 季節「梅雨」の間“Hybrid”は除湿期間として点灯します。

秋 除湿運転を停止する時期です

停止 24時間換気 (SV-20U) を「熱交換」又は「外気導入」でお好みの設定に切り替える。除湿ユニットの「除湿」運転を停止する。

1 解除 同じ操作をしてください。

※解除後に電源の入り切りを行うと、その時の解除済のアラームはリセットされ再度アラームが点滅することがあります。

快適に暮らしていただくために

四季対応型仕様の季節の切替え

該当仕様 **四季対応型** ※ナビゲーターの四季対応型仕様の初期設定が必要です。

ご注意

ここでは24時間換気S C-V 3システムにて四季対応型仕様の換気計画で設計された建物が対象となります。S C-V 3システムが設置されていても四季対応型仕様の設計でない場合は該当しません。また、お客様のご自宅が四季対応型仕様となっているかについては工務店様にお問い合わせ願います。

季節にあわせて給気口の開閉を行います

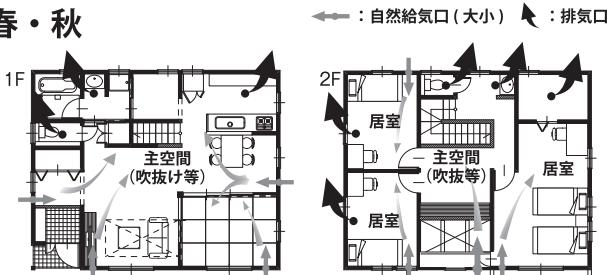
●「春・秋」の換気計画

全ての自然給気口を開放して新鮮空気を取り込みます。

●「梅雨・夏・冬」の換気計画

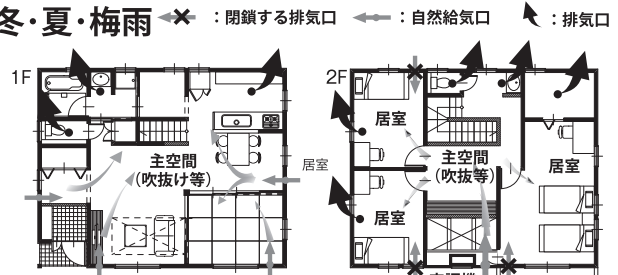
外気の取り込みを主空間(吹抜け等)にあつめてまとめて空調し、主空間と温湿度環境を近づけたい居室は自然給気口(給気ユニット)を閉じて主空間の空調空気を排気口から換気します。

春・秋



●イラスト等はイメージであり実際の空気の流れと異なる場合があります。

冬・夏・梅雨



●イラスト等はイメージであり実際の空気の流れと異なる場合があります。

快適に暮らしていただくために

季節の切り替え

梅雨 冬 が近づくと
"Hybrid"ランプが点滅します

「梅雨」又は「冬」の前の
中間ランプが点滅しています



「梅雨・夏・冬」の換気計画に切り替え

準備

主空間と環境を近づけたい居室の自然給気口を閉じます。
好みに応じて主空間の暖冷房や除湿を行います。
冬になる時は、24時間換気を弱運転にします。

1 解除

<SL>
を長押しして、**"Hybrid"の点滅を解除する。**

くらしボタンを長押し(5秒以上)すると点滅が解除されます。(季節の表示ランプが1回転します)
季節「梅雨」の間"Hybrid"は除湿期間として点灯します。

※解除後に電源の入り切りを行うと、その時の解除済のアラームはリセットされ再度アラームが点滅することがあります。

春 秋 が近づくと
"Hybrid"ランプが点滅します

「春」又は「秋」の前の
中間ランプが点滅しています



「春・秋」の換気計画に切り替え

準備

全ての居室の自然給気口を開けます。
春になる時は、24時間換気を強運転にします。

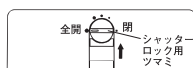
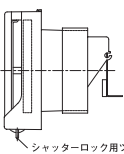
1 解除

<SL>
を長押しして、**"Hybrid"の点滅を解除する。**

くらしボタンを長押し(5秒以上)すると点滅が解除されます。(季節の表示ランプが1回転します)

※解除後に電源の入り切りを行うと、その時の解除済のアラームはリセットされ再度アラームが点滅することがあります。

自然給気口(給気ユニット)の開閉



自然給気口の下部にあるシャッターロック用ツマミで開閉を行います。
詳しい操作方法はP-13KQU (-D) 取扱説明書をご覧ください。

お願い

すでに切り替えがお済みのおと、"Hybrid"ランプが点滅したときは、1解除のみを行ってください。

故障かな？と思ったら



修理を依頼される前に、次の点をお調べください。なお、不具合があるときは、必ずブレーカーやSCナビゲーターの電源を「切」にしてから工事店様にご連絡ください。

故障かな？	お答えします。
SCナビゲーター 電源を「入」にしても、何も点灯しない。	ブレーカーは「入」になっていますか？ 停電ではありませんか？
季節の円周上のランプが全点滅する。	時間情報が失われています。3ページの運転前の準備「日時設定」を行ってください。
通気モードの床下と小屋裏のランプが交互に点灯する。	外気温度センサーが断線又は外れています。工務店様にご連絡ください。
通気モードの床下ランプが点滅する。	手動の床下ダンパーの開閉確認アラームです。10ページ又は12ページをご覧ください。
通気モード効果表示部が点灯しない。	マニュアル運転中、異常に暑い時の停止中は点灯しません。
通気モード効果表示部の“排熱・冷却”と“保温・加温”が同時に点灯する。	春から秋の期間、床下を保温しながら小屋裏を排熱する小屋裏モード時に点灯します。
通気モードの停止ランプが常時点灯している。	自動運転で外気温度が18℃未満、または36℃以上、マニュアル運転で夏の20℃以下のとき停止します。
マニュアル運転にしても通気モードの表示が変わらない。	通気モードが切り替るまで最大1分程度かかる場合があります。
床下ダンパー・小屋裏ファン・小屋裏給気口 異常な動作音がする。 (大きな音、断続的な開閉音など)	床下ダンパー⇒故障の可能性があります。工務店様にご連絡ください。 小屋裏ファン⇒ファン内部のシャッターからカラカラという音が聞こえるときがあります。 小屋裏給気口⇒電動シャッターが閉鎖するときにバタツという音が聞こえるときがあります。
焦げ臭いにおいがする。	電気系統に異常がある場合があります。工務店様にご連絡ください。
床下ダンパーが動かない。(SCナビゲーターは動作している。)	ブレーカーは「入」になっていますか？
床下ダンパーが完全に閉鎖しない。(SCナビゲーターは動作している。)	なにかが挟まっているか、部品の破損の可能性があります。工務店様にご連絡ください。
玄関ドアを開けるのが重くなった。 給気口からの風の流入が多くなった。	小屋裏ファンの風量設定が必要です。夏に半自動仕様で、床下ダンパーを閉めたままではないですか？

故障かな？と思ったら

以上のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し「工務店様」にご相談ください。

お願い

近くで落雷があったときは、18ページのシステムの動作点検を行って異常がないかを確認してください。

点検をする間に

システム動作点検とあわせて、外気温度センサー、床下ダンパー、小屋裏給気口、屋外フードの日常点検をお願いします。なお、小屋裏ファン・小屋裏給気口の屋外フードや温度ヒューズの点検は工務店に依頼してください。

警告

お手入れの際は、分電盤のブレーカーを切ってください。通電状態では感電やけがをする恐れがあります。

ご注意

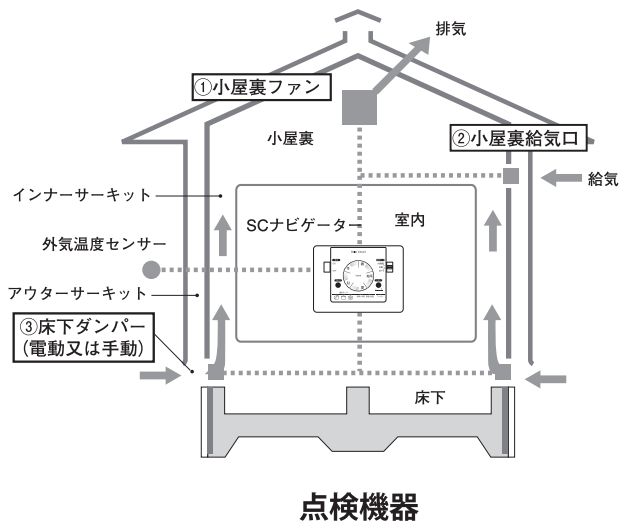
お手入れの際は、手袋を着用してください。(着用しないとけがの原因となります。)
 お手入れの際は、足元が不安定な状態で着脱および清掃は行わないでください。(転倒によりけがをすることがあります。)

お願い

- 塩害地域でご使用になる場合は、錆による部品交換が一般地域より多くなります。
- 長年ご使用の機器は、工務店に点検を依頼してください。

システム動作点検 ※年に1回以上の点検をおすすめします。

SCナビゲーターの電源を「入」にして、システム運転を開始したときは、以下の動作確認をお願いします。



点検機器

点検とお手入れ

お願い

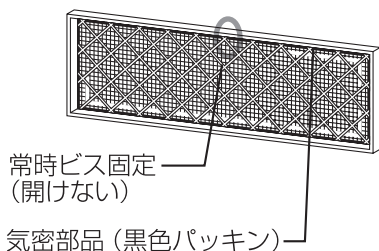
- ・システム動作点検時は、年月日と時間設定のチェックも行ってください。詳しくは4~5ページをお読みください。

ご注意

- ・季節表示「夏」は床下モード運転は外気温度20℃未満で停止になりますので、気温が低い時の点検はさけてください。
- ・手動の床下ダンパーについては手動での動作確認をお願いします。
- ・運転切替スイッチの切替操作を行った場合、通気モードの切替まで約1分かかる場合があります。
- ・電動の床下ダンパーの屋外側のグリル部はあけないでください。指などがはさまれてけがをすることがあります。

床下ダンパーのお手入れ

日常点検では屋外のグリル部（ステンレスメッシュの扉）に大きなごみや、多量のほこりが付着している場合、グリルの屋外面からやわらかい毛先のブラシなどで取り除いてください。この際SCナビゲーターの電源を「切」にして床下ダンパーを閉鎖し、多量のほこりが入らないようにしてください。



電動床下ダンパーのグリル部外観

動作点検のしかた

1 開始

 を押して、ONを選ぶ。

表示ランプが季節の円周上を2回転点灯後、全点灯→全消灯し起動状態のパターンを表示します。

2 設定

で“床下”を選び  とする。

※半自動仕様の場合は、床下モードが点滅しますのでスキップボタン長押し（5秒異常）して点滅を解除しないと小屋裏ファンは運転しません。

3 確認

各機器の動作確認をする。

- ①小屋裏ファンの送風音（強運転）を確認
- ②小屋裏給気口の閉鎖を確認
- ③床下ダンパーの開放を確認（電動のみ）

4 設定

で“小屋裏”を選び  とする。

※半自動仕様の場合は、床下モードが点滅しますが、そのままの状態でも小屋裏ファンは運転しますので確認を続けてください。

5 確認

各機器の動作確認をする。

- ①小屋裏ファンの送風音（弱運転）を確認
- ②小屋裏給気口からの給気を確認
- ③床下ダンパーの閉鎖を確認（電動のみ）

6 停止

 を押して、OFFを選ぶ。

7 確認

各機器の動作確認をする。

- ①小屋裏ファンの送風音（停止）を確認
- ②小屋裏給気口の閉鎖を確認
- ③床下ダンパーの閉鎖を確認（電動のみ）

お願い

- ・気密部品の交換目安は5年です。交換は工務店様に依頼してください。
- ・電動床下ダンパーの場合は、屋外グリル部は開けないでください。挟まれてけがをすることがあります。
- ・芝刈り機などを近くでお使いの時は、ごみが噛みこまれないように床下ダンパーを閉鎖してください。異物の噛みこみを発見したときは工務店様までご相談ください。また、高圧洗浄水によるお手入れは破損の原因となりますのでおやめください。

SCナビゲーターのお手入れ

表面の汚れは、乾いた布で拭き取ってください。（濡れた布は感電の原因となります）
清掃の際には、SCナビゲーターの電源を停止してから行ってください。

お願い

- ・お手入れに下記の溶剤等を使用しないでください。（変質・変色する原因になります）
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザー等けんま材入りの洗剤など。

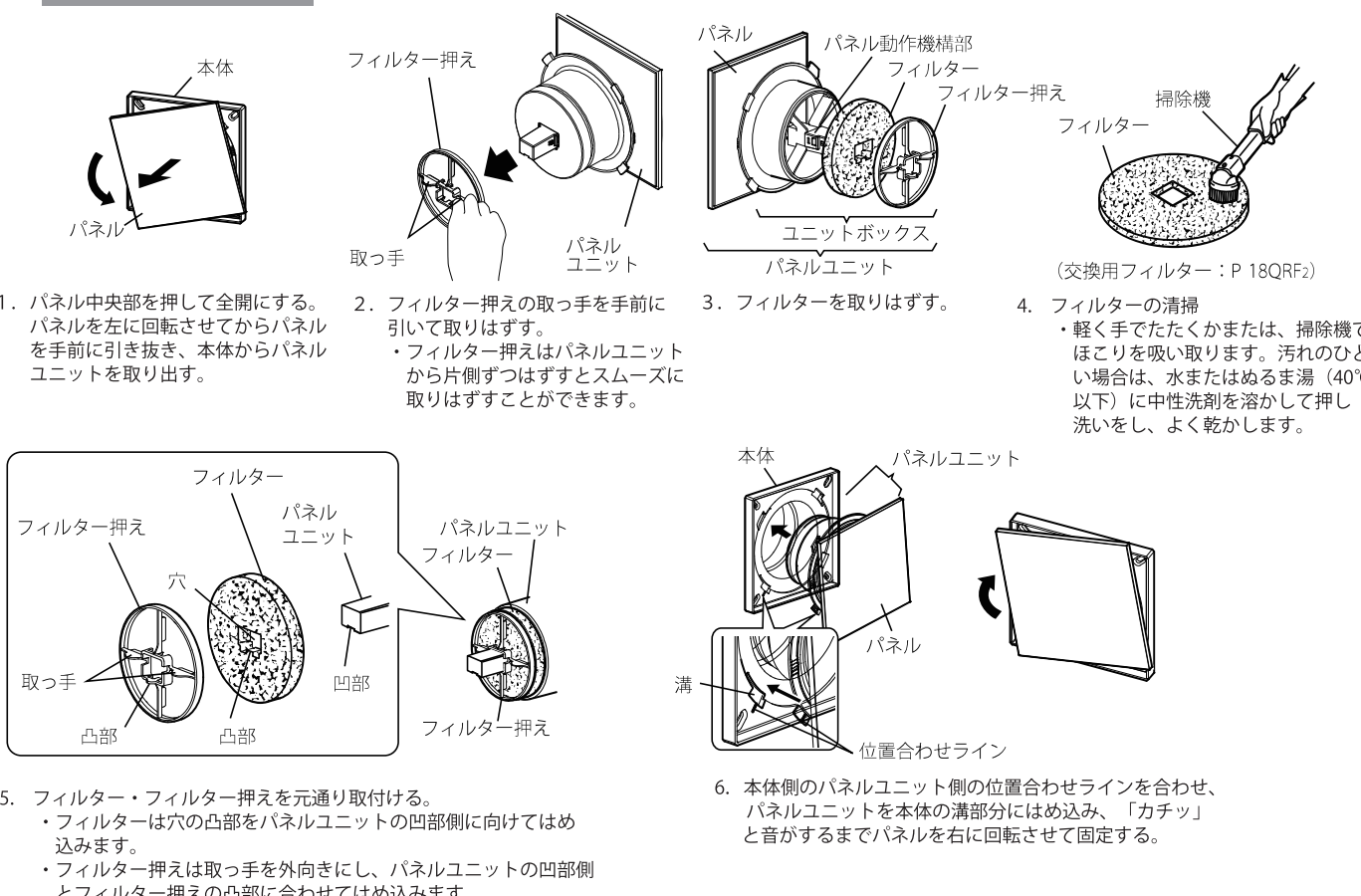
外気温度センサーのお手入れ

大きなごみ、くもの巣などがセンサーに付着していたら取り除いてください。
その際、センサーに強いちからが加わらないようにしてください。（断線など故障の原因となります）
センサーが高いところに取り付けられている場合や設備機器等で隠れている場合は、工務店様へお手入れを依頼されることをおすすめします。

小屋裏給気口（給気レジスター）のお手入れ

給気レジスターにほこりが付着すると風量低下や異常音発生の原因になります。1年に1回を目安としてお掃除してください。春先の通気で溜まったほこりを、夏の運転前に清掃することをお奨めします。

お手入れの手順

- 
1. パネル中央部を押して全開にする。パネルを左に回転させてからパネルを手前に引き抜き、本体からパネルユニットを取り出す。
 2. フィルター押えの取っ手を手前に引いて取りはずす。
・フィルター押えはパネルユニットから片側ずつはずすとスムーズに取りはずすことができます。
 3. フィルターを取りはずす。
 4. フィルターの清掃
・軽く手でたたくかまたは、掃除機でほこりを吸い取ります。汚れのひどい場合は、水またはぬるま湯（40℃以下）に中性洗剤を溶かして押し洗いをし、よく乾かします。
 5. フィルター・フィルター押えを元通り取付ける。
・フィルターは穴の凸部をパネルユニットの凹部側に向けてはめ込みます。
・フィルター押えは取っ手を外向きにし、パネルユニットの凹部側とフィルター押えの凸部に合わせてはめ込みます。
 6. 本体側のパネルユニット側の位置合わせラインを合わせ、パネルユニットを本体の溝部分にはめ込み、「カチッ」と音がするまでパネルを右に回転させて固定する。

ご注意

- ・フィルターを押し洗った場合は、よく乾かして十分に水気を取ってください。
- ・フィルターを熱湯で洗ったり、もみ洗いしたり、直接火で乾かすことはしないでください。
- ・フィルターは、水洗い5、6回を目安に別売の交換用フィルターと交換してください。
- ・フィルター押えは確実にパネルユニットに取付けてください。固定が不十分な場合、虫やほこり侵入のおそれがあります。
- ・パネル動作機構部は分解しないでください。

